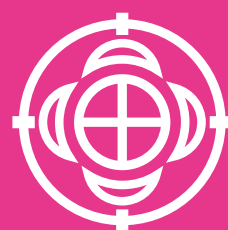




田子町中央公民館にて、平成31年田子町成人式が開催されました（関連記事 P2～3）

田子町 議会だより

2019



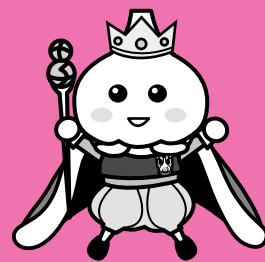
目次	1. 田子町成人式 …… P2～3
目次	2. 第1回定例会 …… P4～8
	3. 議員活動報告 …… P8～10
	4. 田子保育園新園舎完成 …… P11
	5. 国会陳情 …… P12～13
	6. ピックアップインタビュー …… P14 (このへ郷土館 館長 木村明彦氏)

第99号

平成31年4月25日発行
青森県田子町議会

とうございます！！

夢へ一歩ずつ成長を誓う



P2~P3

平成31年1月13日、田子町中央公民館において
田子町成人式が開催されました。
大人へのスタートに立った新成人の皆さんの笑顔には、
希望があふれていました。
総勢69名（男36名・女33名）が成人されました。

定例会／審議結果

P4

予算特別委員会

P5

一般質問

P6~P7

施政方針／活動報告

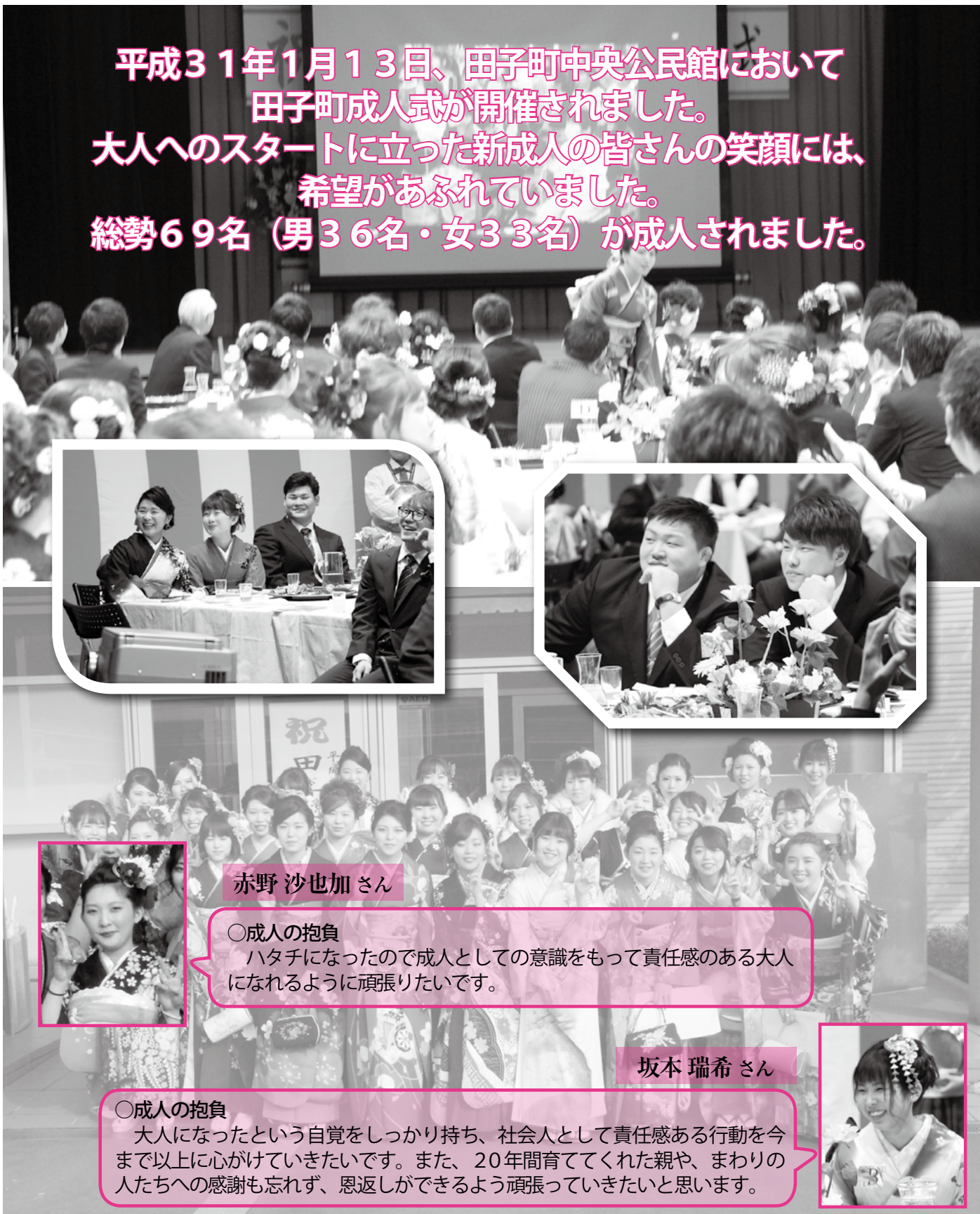
P8~P9

活動報告／保育園

P10~P11

国会陳情

P12~P13



赤野 沙也加さん

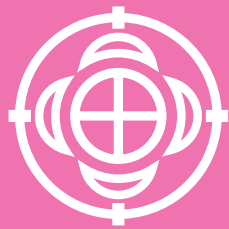
○成人の抱負
ハタチになったので成人としての意識をもって責任感のある大人になれるように頑張りたいです。

坂本 瑞希さん



○成人の抱負
大人になったという自覚をしっかりと持ち、社会人として責任感ある行動を今まで以上に心がけていきたいです。また、20年間育ててくれた親や、まわりの人たちへの感謝も忘れず、恩返しができるよう頑張っていきたいと思います。

特集



祝 成人おめでとう

新たな門出 将来の

P2~P3

定例会／審議結果

P4

予算特別委員会

P5

一般質問

P6~P7

施政方針／活動報告

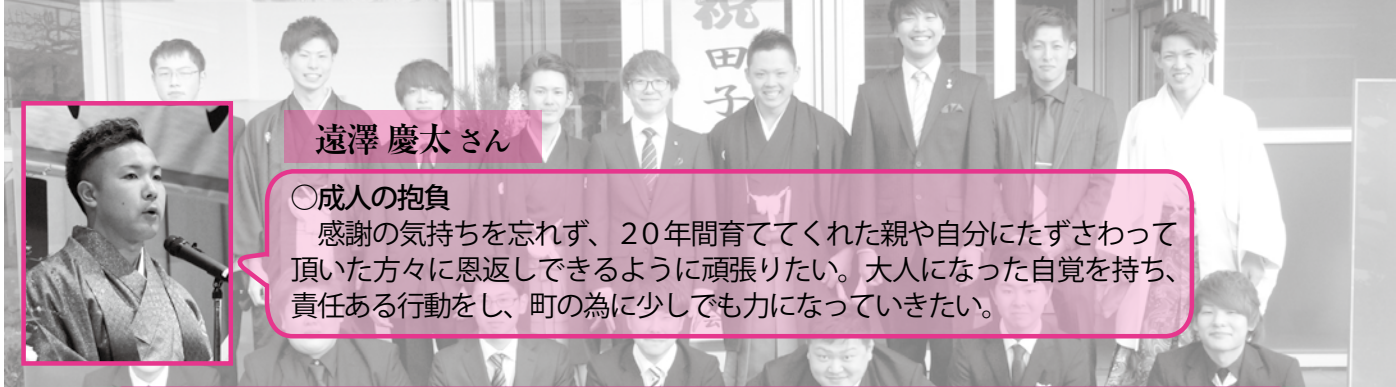
P8~P9

活動報告／保育園

P10~P11

国会陳情

P12~P13



遠澤 慶太 さん

○成人の抱負

感謝の気持ちを忘れず、20年間育ててくれた親や自分にたずさわって頂いた方々に恩返しできるように頑張りたい。大人になった自覚を持ち、責任ある行動をし、町の為に少しでも力になっていきたい。

新成人を迎えられた皆様、おめでとうございます。そして、ご家族の皆様におかれましては様々な想いがこみ上げていることと存じます。

成人となり“大人”という言葉だけが目の前を歩いて、実感はなかなか感じられないと思います。しかし、時間は確実に進み人生は決して後戻りできません。大切な時間の中で「自分はこれをやりたい」というものを見つけること。これは簡単に思えてややこしく、手の届きにくいものです。そんな人生の目標に向い一人ではなく、家族の支えや、歳を重ねても“友”と呼べる仲間、そして大切な人とともに歩んでください。
(澤口 勝)

第1回定例会

定例会の
あらまし

平成31年第1回定例会が2月28日から3月7日までの8日間の会期で開催されました。一般質問には4人、施政方針に対する質問には1人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

3月4日から7日にかけて行われた予算特別委員会では、付託された平成31年度一般会計予算と特別会計予算について認定すべきものと決しました。その他の議案20件についても審議され、原案どおり可決となりました。

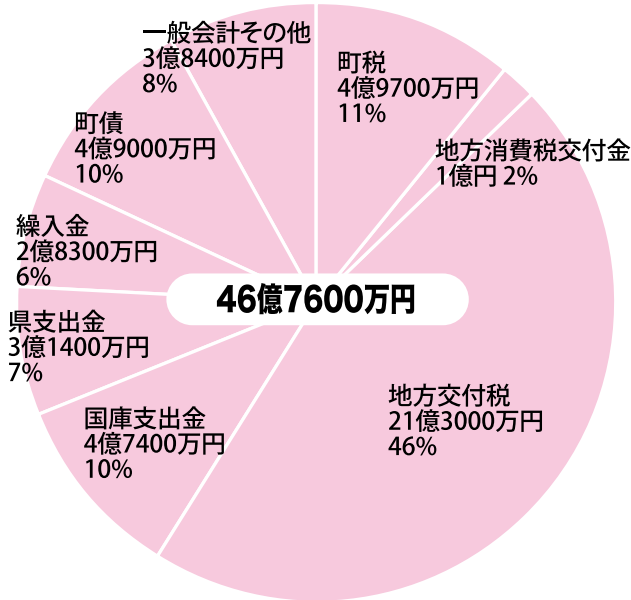
審議結果

平成31年3月定例会で、審議した議案と、その結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第1号	平成31年度田子町一般会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第2号	平成31年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第3号	平成31年度田子町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第4号	平成31年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第5号	平成31年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第6号	平成31年度田子町水道事業特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第7号	田子町にんにく専用高温処理施設に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第8号	田子町にんにく専用CA冷蔵庫に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第10号	田子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第11号	町道路線の変更について	原案可決 (賛9・否0)
議案第12号	町道路線の廃止について	原案可決 (賛9・否0)
議案第13号	三戸福祉事務組合の解散について	原案可決 (賛9・否0)
議案第14号	三戸郡福祉事務組合の解散に伴う三戸郡福祉事務組合立やまばと寮の財産処分について	原案可決 (賛9・否0)
議案第15号	三戸郡福祉事務組合の解散に伴う財産処分及び事務継承について	原案可決 (賛9・否0)
議案第16号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決 (賛9・否0)
議案第17号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決 (賛9・否0)
議案第18号	田子町教育委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第19号	田子町教育委員会委員の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第20号	田子町教育長の任命について	原案可決 (賛9・否0)
議案第21号	平成30年度田子町一般会計補正予算(第9号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第22号	平成30年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第23号	平成30年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第24号	平成30年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第25号	平成30年度田子町水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第26号	工事請負変更契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)

平成31年度当初予算について、予算特別委員会を設置し、3月4日から7日までの日程で審査しました。委員長に日沢一雄議員が、副委員長に砂子田康雄議員が選任され、厳正な審査が行われました。

平成31年度当初予算一般会計 歳入



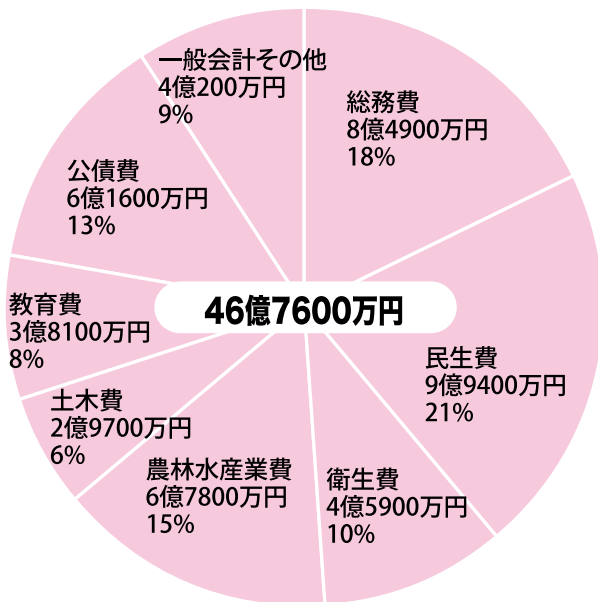
特別会計

- 国民健康保険事業 : 8億6200万円
- 後期高齢者医療 : 7000万円
- 介護保険事業 : 10億300万円
- 診療所及び老健施設 : 4億800万円

企業会計 (水道事業)

- 歳入総額 : 3億2300万円

平成31年度当初予算一般会計 歳出



特別会計

- 国民健康保険事業 : 8億6200万円
- 後期高齢者医療 : 7000万円
- 介護保険事業 : 10億300万円
- 診療所及び老健施設 : 4億800万円

企業会計 (水道事業)

- 歳出総額 : 3億9500万円

主な歳出項目

- 民生費・社会福祉総務費 : 4億100万円
- 民生費・高齢者福祉費 : 1億8900万円
- 民生費・児童福祉総務費 : 1億6000万円

- 衛生費・保健衛生総務費 : 2億2100万円
- 農林水産費・農業振興費 : 1億2000万円
- 農林水産費・林業振興費 : 2億7700万円

P2~P3

定例会／審議結果

P4

予算特別委員会

P5

一般質問

P6~P7

施政方針／活動報告

P8~P9

活動報告／保育園

P10~P11

国会陳情

P12~P13

問 田子高校の 今後について



日沢議員

答弁

町を支える大事な人財となる大切な場所であり、地域活力を支える大きな柱である。

問

第一次志願状況が発表になり、7名という発表があり非常に厳しいものと思われる。このままあきらめるのか、更に存続にむけた対策を考えていくのか。

答

田子高校は、地域にとって無くてはならない学校として、大切な人財を育てていただいていると感じております。現在は大変厳しい状況であり、入学者が確定致しますと、募集停止に向けての協議がなされることとなっております。しかし、様々な課題や可能性・方向性を考えつつ、地域の在り方等も含め、広く話し合いを重ねていきたいと考えております。また、現在の状況での田子高校の存続の可能性を探るとともに更に何が出来るのか議会の皆さまと話し合い、検討して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

中高一貫教育について

問

導入と背景と成果について伺いたい。

答

導入の経緯は、平成6年の田子町教育長による積極的な中高一貫教育推進活動が行われたこと、中高一貫教育の狙いが田子町の教育の狙いと合致したこと、少子化への対応として有効であること、が上げられています。その背景としては、町内中学校生徒数が緩やかに減少していき、過疎化、少子化傾向が一段と加速する中で、分校化や統合などの問題や廃校など最悪の事態を回避したい等があります。成果については、平成13年度からの入学者数は概ね50人前後に持ち直しております。国公立大学への進学者が毎年出るなど、卒業時の進路先決定100%は今も続いております。また、郷土芸能部の活躍は全国レベルとなっております。中高一貫教育導入により田子高校は新生田子高校としてスタートし、「田子」と言えば、「中高一貫」と言われるほどに教育にかける町の想いが町内外に広まっていることを考えますと、中高一貫教育の果たしてきた意味は非常に大きいものがあると感じています。

問 美六姫 について



欠端議員

答弁

産地の希望であり、牽引役となって欲しい。

問

今年から美六姫の販売ができるが、どのような売り方を考えているか。また、ガーリックセンターでは美六姫の黒ニンニクを販売する気はあるか。最後にウィルスフリー化にできないのか。

答

現在、美六姫の販売戦略を策定している最中であり、ロゴやキャラクター、出荷方法や販売価格、さらに栽培等、総合的な内容を考えております。次に、黒ニンニクについては、平成31年度、32年度の全体的な出荷量はまだまだ少ない状況にあることから、当面の間は、ガーリックセンターが直接委託をして黒にんにくを作ることはできないものと伺っております。最後にウィルスフリー化については、ウィルスを伝播させるダニやアブラムシを完全に防ぐことはできないことから、完全なウィルスフリーにすることはかなり難しい状況にあります。しかし、町としましては、新たな対応策を模索し今後も種ほ場内でのウィルス感染株の抜き取りと薬剤での防除を行い、感染株を減らす対策を続けて参ります。

各種の委員会・協議会について

問

2年前の一般質問で町の各種委員会、協議会の数、人員を答えていただいたが数や人員と兼務の変化は。また、解任・再任はどのように決められるか、出席率ほどの程度で流会などは。

答

2年前からの委員会・協議会の変化は、25組織で、前回と同じ組織の数となっており、条例等以外の委員会につきましては1組織の増となっており人員の変化につきましては、合計で525人から527人となっており、全体で2人の増となっております。兼務については、委員5人、3組織の増となっております。次に、解任・再任は、役職等をお願いしている方が異動などにより替わられた場合や、本人からの申し出などあった場合には任期途中でも委員の変更などを行いますが、任期が満了した場合などは、公正かつ均衡のとれた候補者となるよう再任を含めて選定しております。最後に、出席率ほどの程度で流会については平均で75.7%となっており流会などはございませんでした。

道の駅について



沢口議員

答弁

道の駅は、人・もの・情報が一元的に集まる町全体の活性化を図るための拠点となる施設です。

問

運営主体を確立させるべき状況でガーリックセンターをその一つと考えているフシがあるが、主体たりうのか。

答

道の駅実現に向け直売所の生産者団体の組織形成をはじめ、町物産販売機能の充実を図ることが先決であり実践的な販売活動に対するサポートを行うとともに、将来の道の駅利用者を想定した交流人口の増大と商圏人口の獲得に努めて参ります。さらに、一般財団法人田子町にんにく国際交流協会には、産直に関するサポート事業などの実証事業を行っていただくことにより、道の駅の管理運営団体となり得るのか、その可能性について内部検討をして頂くこととしております。その他に進めて行くべき事項として、売上げ予測や収支シミュレーション、道の駅整備による経済効果、さらには、町民が主役となって道の駅の運営に参加することにより、当町の産業振興と地域活性化を実現することを基本方針に加え実際の道の駅管理運営計画を示したうえで、運営主体を確立できればと考えております。

道路改修の意義と優先順位について

問

大福山～矢田郎の道路を改修したが、その意義と、優先順位として、生活道路の整備を先にすべきではないか。

答

意義については、矢田郎側から小沼線へ碎石が流出し、スリップや飛散による事故の恐れがあり、下流域の七日市地区の水田では、道路の排水が流入し、土砂が堆積する被害も発生しております。これらを解消するため実施しております。優先順位については、各地域から要望のあった生活道路の整備については、順次計画に組み入れ実施しております。維持管理上の条件、緊急車両の通行の確保など諸条件を勘案し、より緊急度の高いものを優先して実施しているところであります。

感染予防対策について



宇藤議員

答弁

今後の国や県の動向に合わせて対応していきたいと考えております。

問

感染力はインフルエンザの10倍といわれる“はしか”であるが、手洗い・マスクのみでは予防できずワクチン接種以外に予防方法がない。また、診断までの時間を要する。予防・感染防止対策、水際対策を早急に講じて欲しいと望むが、町としての見解は。

答

予防策についてですが、空気感染を完全に防ぐことが不可能であることと、発病後のはしかに効く治療薬が無いため、効果的な対策はワクチン接種以外には無い状況です。町としての感染防止対策や水際対策ですが、まだ青森県内での発症例が確認されていないことと、1つの市町村として取り組めるような具体的な対策がない状況であるため、今後の国や県の動向に合わせて対応していきたいと考えております。

山本町政2期目について

問

自身の今日までの実績・今後取り組むべき課題等も併せて明示していただきたいと考えるがいかがか。

答

就任当初から一貫して取り組んでいる基本姿勢は、対話であります。対話によって、政策や事業のモニタリング、課題や要望の抽出、優先すべき事項の整理、事業等の説明や参画への要請などを進めて参りました。そして、四つの町民運動の推進であります。田子町の町民が、明るく朗らかに、仲良く支え合い、喜んで働き、活力ある人々となり、激動の時代を乗り越え、持続可能な地域と行政体として力強く歩む仕組みづくりを展開致しました。一つ目は、住みよい地域づくり。二つ目は、安全安心な地域づくり。三つ目は、豊かな地域づくり。四つ目は、健康な地域づくりであります。最後に課題については、人口減少・後継者や働き手の不足など集落機能の低下や行政の守備範囲の増大等大きな課題が山積しております。しかし、田子町には、課題も多いのでありますが、宝も沢山あり、磨けば光り、力を発揮するものが無数にあると感じております。その宝が輝き、力を発揮し、力強く歩み、共に未来を描き創り上げていく為に、町民の皆様、議会の皆様と共に心若くしく取り組んで行く所存であります。

施政方針に対する質問

翌年度の町政運営について
疑問点等を質問します。



沢口議員

産業振興 について

問

農業後継者、耕作放棄地の増加、JA八戸の今後も含め、農業、農家のグループ化、法人化を進めるべきと考えるが、如何か。

答

田子町の現状は少子高齢化の進展により、持続可能な産業へ向けての取り組みは喫緊かつ重大な課題であります。特に、我が町の基幹産業である農業を持

田子高校 について

問

地元高等教育機関が、消滅した後の、高等教

答

育に対する支援、対策は考えているか。残された校舎の利用についてどのように考えているのか。

田子高校につきましては、春以降と予想される県との協議をしていく中で、様々な課題や可能性・方向性を考えつつ、子ども達の未来や地域の在り方等も含め、広く話し合いを重ねていくことを第一優先として考えており、ご質問の内容について、考慮はしておりません。

ふるさとまつり

平成31年1月17日、東京ドームにて「ふるさと祭り東京2019」が開催されました。日本全国から、たくさんの方々が集められ故郷を懐かしみ思い出の味を舌鼓したり、何を食べようか決められない様子があちらこちらで見られました。我々も改めて「食の力」を感じました。

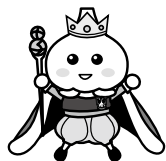
「田子町産ニンニク」のブランド力は強く、田子町のブースに足をとめるお客さんは多かったです。しかし、ただ販売するのではなく商品から広報戦略など日々進化し、様々な事へ対応していくことがこの先には必須だと感じました。

(砂子田康雄)

田子にんにくに負けない人気者

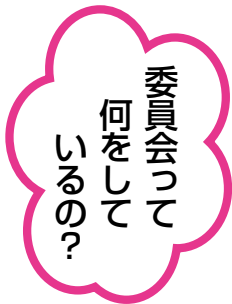


2019 50th



たっこ王子と記念写真

in 東京ドーム 50th 当主トーマ



議会運営（議会広報編集）委員会では定例会の会期を決める等、議会を円滑に運営するために活動をしています。

総務・文教常任委員会では総務、政策、税務、住民、教育の分野において、より良くする為に活動しています。

産業・民生常任委員会では医療、介護、住民、農業、産業振興、建設、地域包括支援の分野において、より良くする為に活動しています。

各委員会5人ずつ所属し、特別委員会の活動や、研修会への参加・先進地視察等を行っています。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長
日沢一雄委員 砂子田康雄委員 尾形憲男委員

協議

○実施日 2月18日

2月28日開会の平成31年第1回定例会の議事日程について協議を行いました。

議会広報編集委員会

○実施日 12月25日

議会日より第98号の内容を確認し、誤字・脱字・レイアウト等の校正を行い、平成31年1月9日に再度招集し最終校正を行い、平成31年1月24日に発行しました。

○実施日 2月18日

議会日より第99号の構成、スケジュールについて協議し、担当者割り振り、順次業務を行うっていくことになりました。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 日沢一雄委員長 砂子田康雄副委員長
梶本義見委員 宇藤大介委員 澤口勝委員

○実施日 2月12日

教育課

平成31年度の入学者数と全校生徒数の報告があり、小、中学校・幼稚園・田子高校においては前年より減少していると説明がありました。

総務課

タプロコピアンプラザ空調設備改修工事は完成検査を実施したと説明がありました。

政策推進課

地域おこし協力隊員について、たっこにんにくの振興を活動内容とした隊員の採用が報告されました。

住民課

田子町における交通死亡事故ゼロ日が昨年の12月1日で、1864日となり歴代最高記録を更新し、現在も更新中であることから、290日を目指していくと説明がありました。

次に、コミュニティバス運行時刻やフリー乗降区間の拡張については協議すると説明があり、委員からは今後の拡張には交通量が多く、住家が連続する国道沿いについて検討が必要との意見が出されました。

税務課

税の徴収実績の説明では、一般税・国保税とも昨年度と比較して徴収率が増となっている。ふるさと納税では、件数、金額ともに増で、これからの魅力ある返礼品を検討して行くとの説明がありました。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長
蹴揚清人委員 沢口博二委員 欠端則夫委員

○実施日 2月13日

診療所・老健施設

31年度の医師体制については、引き続き2名体制を維持し、三戸病院との医療連携や、他の医療機関からの整形外科、小児科、泌尿器科等、診療支援を受けると説明がありました。

地域包括支援課

高齢者冬期居住サービスの利用状況は、現在せせらぎの郷は満室であると説明がありました。

住民課

幼児教育の無償化については、平成31年10月1日から実施し、詳細については、保育園と町で協力し様々な形で周知すると説明がありました。

建設課

世紀越えトンネル活動では青森・秋田両県の協力のもと、国会議員、国土交通省へ陳情しました。来年度の県・町工事等については、新規・継続の説明がありました。

産業振興課

田子にんにく振興開発や家畜排泄物対策、農業後継者対策、大黒森ロッジカウベルの改修事業、アンテナショップや道の駅についての説明がありました。

農業委員会

農地法に係る農地の移動について説明がありました。

事務組合紹介

三戸地区環境整備事務組合

三戸地区環境整備事務組合では、三戸町、田子町、南部町をもって組織し共同処理する事務組合です。

主な事務事業

- 一般廃棄物処理施設に関する事務
- 一般廃棄物の処分に関する事務
- し尿又は浄化槽に係る汚泥の収集、運搬に関する事務
- し尿又は浄化槽に係る汚泥の収集、運搬又は処分を業とする者に係る廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条の許可に関する事務
- 浄化槽の清掃を業とする者に係る浄化槽法第35条第1項の許可に関する事務
- 厚生福祉施設葬祭場の設置及び管理に関する事務

組合所属議員

- ・宇藤 大介 議員
- ・蹴揚 清人 議員
- ・尾形 憲男 議員
- ・宮村 尚哉 議員
- ・欠端 則夫 議員

田子高原事務組合

田子高原事務組合は、田子町、三戸町、新郷村、五戸町、南部町の4町1ヶ村で構成されており、主たる事業は、放牧事業と採草事業であり、放牧事業は三戸畜産農業協同組合に管理委託し、放牧頭数は約200頭です。採草事業は、平成27年度から継続して、農家支援事業を実施いたしております。農家支援事業の内容としましては、当組合産の乾草ロールを、組合管内の畜産農家の方が購入した際に、1kgあたり4円の補助を実施しています。地域の畜産振興に向けて支援をしております。

組合所属議員

- ・砂子田康雄 議員
- ・椛本 義見 議員

八戸広域市町村圏

八戸地域広域市町村圏事務組合では、消防、ごみ・屎尿処理、介護福祉などに関する業務を市町村共同で行うために設置された特別地方公共団体です。※八戸市、三戸郡の全市町村及び上北郡おいらせ町で構成されていますが、業務によっては共同処理を行っていないものもあります。

主な事務事業

- 常備消防事務
- 特別養護老人ホーム事務
- 介護認定審査会事務
- し尿又は浄化槽に係る汚泥の収集、運搬及び処分事務
- ごみ焼却施設の設置及び管理事務
- リサイクルプラザの設置及び管理事務等

組合所属議員

- ・沢口 博二 議員

三戸・三戸・田子 議会議員協議会

平成31年1月18日、三戸町において三戸市・三戸町・田子町議会議員協議会が開催され、これからの広域連携のあり方と題し、ワークショップ形式での研修会が行われました。この形式は対面式対話と比較し、カフェ

○他者の意見を、しっかりと聞く



○町の良いところ・悪いところを書き出す

中で意見を出し合い、他者の意見を尊重し認め合うことで新しい意見をすることを目的としています。議員に意見を言う堅いイメージから、議員と町民が一緒に町全体で故郷を良くする。この研修会は、これからの私たちに必要な事を学ぶ機会となりました。

(宮村尚哉)

田子保育園 新園舎完成

平成31年1月29日、田子保育園の新園舎落成式が行われました。当日はお披露目会もあり一足早く子ども達の笑い声が響き渡り、これからの保育園生活を楽しみにしていることが伝わってきました。

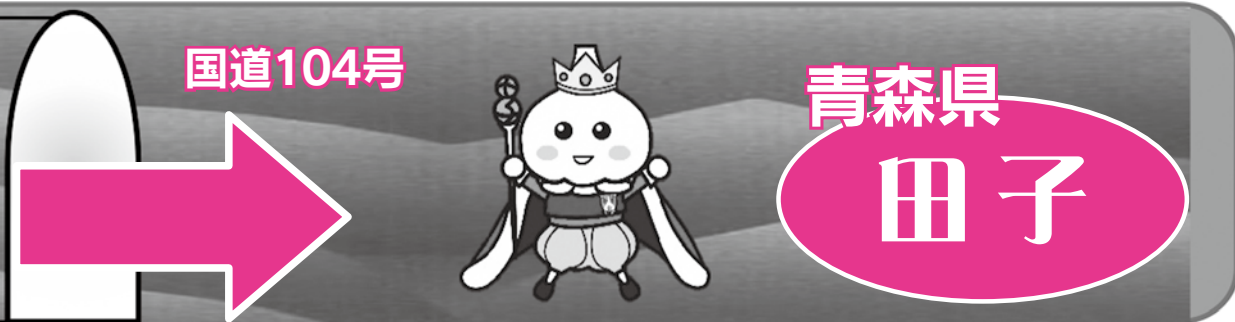


未来を担う
町の宝

未来の可能性に溢れる田子の園児達のホームグラウンドは日当たり良好で、木材主体の暖かな内装、エントランスの大きな水槽、万全のセキュリティ、子ども達への安全対策が綿密に練られた素晴らしい施設となりました。

保護者の皆様も安心して我が子を託し、就労に勤しむことができるとは。かけがえない我が町の宝である子ども達。町を挙げて支えて参ります。

(宇藤大介)



世紀越えトンネル概要図



国土交通省・道路局長への陳情



国土交通省
道路局次長への陳情



国土交通省
道路局官房審議官への陳情

1990年代から続いてきたプロジェクトも大きな歩みさせた。青森・秋田の両県知事への要望活動が実り、国土交通省陳情の際には秋田県鹿角市議会議員・副議長をはじめ、両県職員が同行していただくこととなり、両県選出の国会議員からは今まで以上のご協力をいただくことができました。このトンネルに光が見えた今、世紀を越えた願いが両県のみならず近隣市町村の発展を結び、絆をより深いものとする。

世紀越えトンネル 早期着工を要望

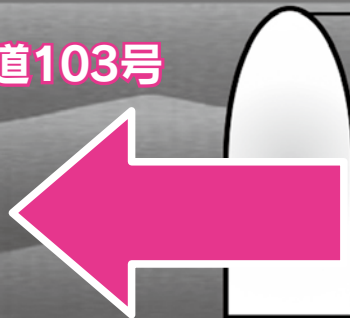
国土交通省

事務次官
森 昌文
技監
菊地 身智雄
道路局長
池田 豊人
道路局次長
榊 真一
道路局官房審議官
田尻 直人

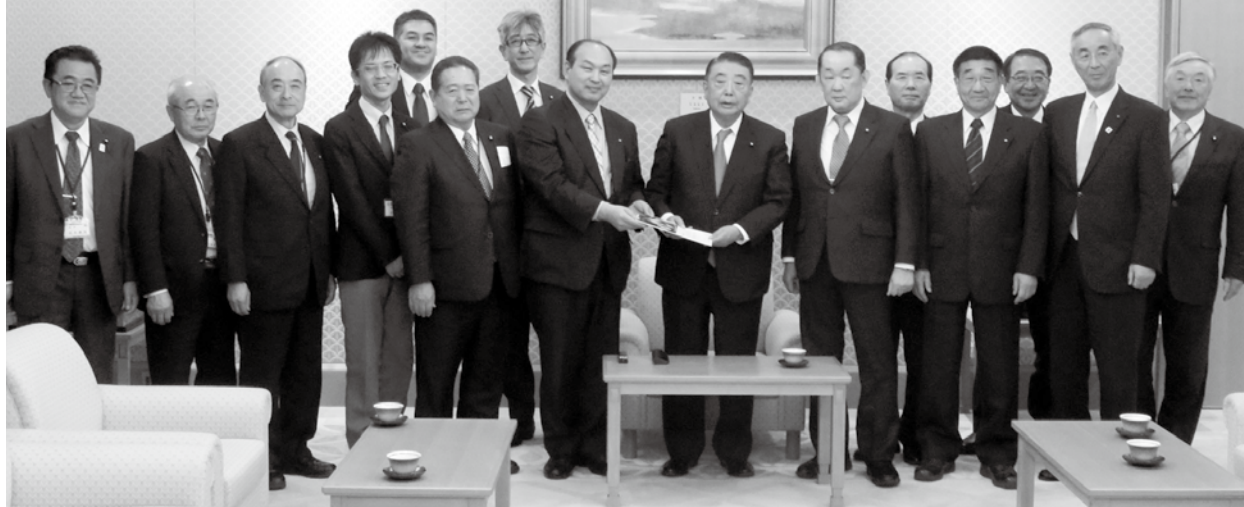
秋田県 大湯



国道103号



衆議院議長公邸にて 大島衆議院議長へ陳情



国土交通省・事務次官への陳情



国土交通省・技監への陳情

“ピックアップ”インタビュー



ごのへ郷土館 館長
木村 明彦

○あいさつ

こんにちは。「このへ郷土館」の木村です。と言っても皆さんには「かつて田子小学校の」と言った方がピンとききますよね。2月には町制施行90周年記念事業でお邪魔させて頂きました。その節は大変有り難うございました。

○赴任前の田子町の印象

「早くから民間の発想を取り入れ、官民一体となって町を盛り上げている町」との印象です。サンモール、ガーリックセンター、にんにくとべご関係のイベント、そして時折、登山をしていたので四角岳、最後に文化的遺産が残る町、これらが私にとって田子町の代名詞でした。

○田子町へ赴任してみても

概ね予想通りでした。赴任して驚いたのはPTAはもちろん、町民の皆さんがとても協力的だったということ。クレーム社会にあり、滔々と流れる歴史が作り上げた独特な風土だろうと思っています。

○これから田子町と一緒にやってみたいこと

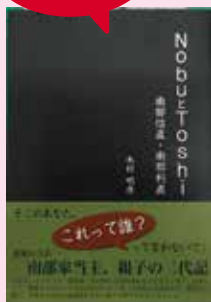
「知の循環事業」です。費用の出所や産業界分野にこだわらず個の研究が公に還元され、これが個の生きるエネルギーに返されるということ。田子町さんの徐々に高まる無限ループの一つに協力できたらと思っています。

○要望はありますか

官民一体の事業はもはや珍しくなくなりました。しかも「この指とまれ！」と流布しても現代風が吹きつけ、よほどでない限りトンポは止まってくれません。しかし、町のよほどの1つに「信直公450年前からの梅林」と「利直公生誕の地」があります。日本全国の市町村の中でこれを提唱できるのは田子町だけ。オンリーワン、いかがでしょうか。

そしてもう一つ、入館無料の「このへ郷土館」もよろしく。Nobu Toshiと五戸代官・木村奎は堅固な信頼関係で結ばれていました。館長講座や土器野焼き体験のイベント参加、昔懐かしい教室で井戸端会議などいかが？。郷土館カフェの土曜は「豊穰カレー」、日曜は「鶴里そば」（いずれもコーヒー付きで500円）があります。しかも、ご一報いただければ私の館内解説つきです（笑）。

へえ～!!
が満載!



ごのへ郷土館 (旧豊間内小学校)

- ・開館時間：午前10時～午後5時
 - ・休館日：毎週月曜日/年末年始
 - ・入館料：無料
- ※詳細は、お問い合わせください。
TEL 0178-62-5965



様々な展示物があり大人も子どもも楽しめます!



薬師前遺跡
(国指定重要文化財)

編集後記

第99号をもって、町議員の改選期により現広報編集委員の任期も終わります。議員、自ら議会だよりにたずさわり議会の活動の一端を町民皆様に伝える事が使命として取り組んでまいりました。次回100号からは、新たな議員、全員で取り組めたらと。身近な議会だよりを目指します。(尾形憲男)